

兵庫 保険医新聞

第1883号

2018年7月15日

発行所 兵庫県保険医協会

http://www.hhk.jp/

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31

神戸フコク生命海通ビル5F ☎078-393-1801

(1部350円送料共・年間購読料12,000円)

振替01190-1-2133

(会員の購読料は会費に含まれています)

表 骨太の方針2018で示された医療提供体制縮小と患者・国民負担増計画 (主なもの)

本文の記述	内容	
医療提供体制の縮小	・2019年度～2021年度を「基盤強化期間」と位置付け、経済成長と財政を持続可能にするための基盤固めを行う。	社会保障費の伸びを3年間で1.3兆円に抑制
	・地域医療構想の実現に向けた個別の病院名や転換する病床数等の具体的対応方針…の策定を促進する。	病床削減
	・2022年度以降について…将来的な医学部定員の減員に向け、医師養成数の方針について検討する。	医師数抑制
患者負担増計画	・所得のみならず資産の保有状況を適切に評価しつつ、「能力」に応じた負担を求めることを検討する。	退職金や自宅など「資産」を持つ人の負担引き上げ
	・後期高齢者の窓口負担の在り方について検討する。	後期高齢者の窓口負担を原則2割化
	・医療・介護における「現役並み所得」の判断基準を現役との均衡の観点から見直しを検討する。	「現役並み所得」の基準を引き下げ、高負担の対象者を増やす
	・薬剤自己負担の引上げについて、…対象範囲を含め…必要な措置を講ずる。	処方箋なしで買える漢方薬や湿布、痛み止めの保険外し
	・外来受診時等の定額負担導入を検討する。	かかりつけ医以外受診時に500円程度を窓口負担に上乗せ
・保険給付率と患者負担率のバランス等を定期的に見える化しつつ、…総合的な対応を検討する。	医療費が増えた場合、窓口負担割合を自動的に引き上げる	

政策解説

骨太の方針2018 これまで以上の医療費抑制策

協会政策部

6月15日、「経済財政運営と改革の基本方針2018」(以下、骨太の方針2018)が閣議決定された。社会保障費の自然増を高齢化相対にまで抑制することや、そのための地域別診療報酬や受診時定額負担の導入などが盛り込まれている。問題点を検証する。

今回の骨太の方針2018では、骨太の方針2015に定められた社会保障費抑制策の継続が問われていた。結果、「社会保障費抑制策については、増加を高齢化による増加分に相当する伸びにおさめることを目指す方針」を21年度まで継続する「これまでの方針の継続が明示された。抑制については数値目標こそ設けられなかったものの、議論の過程では、財務省は19年度の3年間で社会保障費の伸びを計1・3兆円に抑制する案を示していたとされている。これは社会保障費の

これまでの骨太の方針同様、医療費抑制策や医療提供体制の縮小、患者・国民負担増計画が盛り込まれている(表)。医療費抑制策としては、「一人当たり医療費の地域差半減」「(国保)法定外繰入の解消」「地域独自の診療報酬」などが盛り込まれた。これらは都道府県に、より低い診療報酬の設定などで医療費抑制を強制的なものである。実際に、奈良県の荒井正吾知事は「医療費抑制策で国保保険料が下がらない場合は、診療報酬の引き下げを行なう」と明言している。これが実現すれば、その地域の医療機関経営は大きな打撃を受け、医療提供体制の縮小などが起こりかねない。

政府は、社会保障費抑制は財政健全化のためとしている。しかし、政府はこれまでに財政健全化目標の達成時期を11年度↓19年度↓20年度と3度先延ばし、今年25年度まで見送りを決めた。財政健全化が進まない背景について、財務省は「日本の財政関係資料」(18年3月)で「歳入面では、…減税による税収の落ち込みが要因」と、たゞ重要な法人税減税や大企業向けの租税特別措置の拡大などによる歳入不足を認めている。財政健全化を理由に、社会保障費を抑制する一方で、大企業中心に減税を行うという政府の姿勢は、財政健全化は社会保障費抑制のための口実にすぎないことを示している。

さらなる患者負担増
医療提供体制の縮小と

骨太の方針2018では、規指導などの審査指導対策や保険請求対策に加え、4月の診療報酬改定対策に組み合わせ、とりわけ歯科では新点数研究科では新点数研究科と施設基準の届出に対応した医療安全管理対策研究会で多くのみなさまにご入会いただきました。また、「保険医年金」「グループ保険」「休業保障制度」の協会3大経済制度に加え、今年から「新グループ保険」を発足させ、大型保障のニーズに応えました。先生ご本人だけでなくご家族

命や健康を危険に晒す患者が増えかねない。
必要なのは
社会保障の充実

骨太の方針2018には、「社会保障制度が経済成長を支える基盤となり、消費や投資の活性化にもつながる」との文言が盛り込まれた。社会保障は経済成長の足かせであるとするとこれまでの表現が、多くの批判により修正されたものである。

この文言のように、世界に類を見ないスピードで高齢化が進む中、必要なのは社会保障制度を充実させ、国民の将来不安を払拭し、持続可能な経済社会を作ることである。

保団連・協会では骨太の方針2018に盛り込まれた患者・国民負担増に反対し、社会保障費の抜本的増額を求めるため、今後、クイズラリーや署名などに取り組む予定。ぜひご協力をお願いしたい。

調査対策や保険請求対策、歯科医療安全管理対策研究会等を宣伝し、新たに公私3病院の入会とともに、会員病院の歯科も単独で入会するなどの成果を得ました。

会員のみならず、お知り合いの開業医や勤務医、ご子弟など紹介いただきました。改めて感謝申し上げます。協会では社会保障を守る運動とともに、医師の働き方の改善や診療報酬引き上げなどさまざまな課題に取り組めます。みなさまのより一層のお力添えをお願い致します。

春の組織強化月間を終了

会員数過去最高を更新7447人



協会では、「頼りになり役に立つ、会員になって得をする協会」を掲げて、春の組織強化月間に全力で取り組みま

した。3カ月間で1600人の入会を得て、組織現勢は7447人となり、過去最高を更新することができました。多くの会員のみなさまのご協力に、心からお礼申し上げます。

今春の組織強化月間では、新規開業医研究会や開業セミナーなどの開業サポート、新

燭心

例年のことであるがこの季節になると、原水爆禁止世界大会に向けて「平和行進」「平和美術展」などの催しがある。原爆の投下された「広島」と「長崎」ともに灼熱の夏であるが、俳句の世界ではこの間に夏と秋の変わり目があるという(金子兜太、二つの夏)。趣があるというか少し煩わしさを感じる「原爆投下に先立つこと4カ月、凄惨を極める沖縄戦が繰り広げられた。米軍の本土上陸を恐れ、時間稼ぎの消耗戦。沖縄の4人に1人が亡くなるというあまりにもむごい捨てられた。沖縄戦73年、世界平和を願う「慰霊の日」の式典が6月23日に行われた

▼年月が経ち戦争経験者が減り、記憶が薄れつつある中、14歳の少女相良倫子さんが自作の詩「生きる」を朗読した。朗読というより一度も原稿を見ることがなく、清らかな瞳をキッと見開き、心の底から大勢の人たちに訴えた。すべてのことが胸を打つ▼昔から「こころには霊力(言葉)が宿っている、また言葉の薬とは人の心を種として表れた。種であるという。種としての人の心は読めないが、人の口から出た(言)の(葉)により託された思いを知ることが出来る」▼戦没者追悼式で安倍首相のあいさつ、全文を見て何も伝わらない。「…沖縄の基地負担軽減に全力を尽くしてまいります」同じことばでこんなにも次元が異なるものかと驚きを禁じ得ない。心に種がないと出る葉も空虚である。それを見抜いて参加者からは「帰れ！」のヤジがたたくさん飛んだ(無)

歯科定例研究会

感想文

口腔ケアと嚥下リハのポイントを学ぶ



歯科部会は6月3日に県農業会館で歯科定例研究会「超高齢社会における口腔ケアと摂食嚥下リハビリテーション」を開催。九州歯科大学老年障害者歯科学分野教授の柿木保明先生を講師に、69人が参加した。とも歯科医院・歯科衛生士の林朱音氏の感想を紹介する。



柿木保明先生(上)が口腔ケアと接触嚥下リハのポイントを説明し、69人が参加した

様の気持ちや病状に寄り添うためのヒントが何か得られるであろうと、すごく楽しみにしておりました。また私は先生が在籍されている九州歯科大学の近くにある衛生士学校に通っていたため、何度か先生の授業を受けたことがありました。その際、誰もが分かりやすく、難しい内容でも興味を引き立たせてくれる先生の話がまた聞けることはすごく嬉しかったです。私は現在、さまざまな施設や患者様のご自宅に往診に伺っていますが、患者様の訴えをただ治すだけでなく、生活習慣や疾患、常用薬などから訴えの原因を考えた上で対応することが必要であること

味が引き立たせてくれる先生のお話がまた聞けることはすごく嬉しかったです。私は現在、さまざまな施設や患者様のご自宅に往診に伺っていますが、患者様の訴えをただ治すだけでなく、生活習慣や疾患、常用薬などから訴えの原因を考えた上で対応することが必要であること

【須磨区・とも歯科医院 歯科衛生士 林 朱音】

第4回 病院歯科懇談会

感想文

病院歯科に特化した役立つ新点数情報

歯科部会は6月20日に協会会議室で、第4回病院歯科懇談会「2018年4月歯科新点数をめぐって 初再診料・外来環、周術期と連携、医管、算定例等の解説と交流」を開催。神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科教授の足立平協会副理事長をコーディネーターに、川村雅之協会副理事長が話題提供、神戸市立医療センター西市民病院歯科口腔外科の西田哲也院長が症例報告を行い、22人が参加した。中村純也先生の感想を紹介する。



診療報酬改定をめぐるとの工夫について22人が学習

を学ぶ機会が少なく、本懇談会の開催は非常にありがたく思っています。まず川村雅之先生から「2018年4月歯科診療報酬改定をめぐって」と題して、歯管に対するさまざまな加算、医管・総医、レーザー機器加算、特疾患を算定できる特定疾患(MRONJが含まれた)などを幅広くまとめていたいただき、歯周基本治療やSPT、実地指、歯清についても変更追加点を加え、詳細に説明していただきました。続いて、足立平先生から、診療情報提供料(施設宛へも算定可能に)、歯科用3DC T、摂食機能療法、口腔機能加算の上手な活用についてお話をさせていただきました。とくに小児口腔機能管理加算(小機能)と口腔機能管理加算(口機能)については、ライフステージに応じた口腔機能への対応を、小児や高齢者が来院することも多い病院歯科において、率先して行う必要があるのでは、と私も感じています。

西田哲也先生からは、2018年診療報酬改定から、①床副子に関する技術の見直しを受け、顎関節症・歯ぎしりや止血シーネ目的だけではなく、気管内挿管時の歯の保護(病名は気管内挿管時の口腔内装置必要状態とする)においても、技工料などを工夫して算定していかないかという点、②周術期等口腔機能管理

会員討報 船曳 和子先生 灘区 産婦人科 6月20日 享年87歳 ご冥福をお祈り 申し上げます

県社保協総会

消費税増税に頼らない 社会保障拡充の道を

湖東京至元静岡大教授が講演

協会も参加する兵庫県社会保障推進協議会(県社保協)は6月30日、神戸市勤労会館で第47期総会を開催し90人が参加した。総会議事では中央社保協が提起した「憲法25条を守り安全・安心の医療・介護を実現する大運動」に取り組みなどの方針を採択した。役員改選では、兵庫県保険医協会副理事長の吉岡正雄先生が会長職を勇退し、新会長に同じく副理事長の武村義人先生が選出された。

記念講演は、元静岡大学教授である湖東京至税理士が「消費税を上げずに社会保障財源38兆円を生む税制」と題して講演。湖東氏は、2019年10月の消費税10%への引き上げを前に、すでに軽減税率の対象



消費税増税に頼らない社会保障財源について元静岡大教授の湖東税理士が解説し90人が参加

とされる新聞代などの分野で「増税前の値上げ」が始まり、国民生活に打撃を与え始めているとした。軽減税率の導入は低所得者の負担軽減を名目としているが、値上げを抑制する効果は限定的であるばかりか、8%税率の適用範囲をめぐるとの混乱が予想されるとし、下請けの中小企業が納めた消費税が、輸出大企業に輸出還付金として戻される仕組みについても解説し、税率が高くなればなるほど輸出大企業への還付額は増える一方、中小企業による消費税の滞納件数はさらなる増加が見込まれると、安定した税収確保の点からも問題点を指摘した。湖東氏は社会保障財源として消費税増税をせずとも、消費税を導入した1989年以降続けられてくる、年間23兆円を超える法人税の大減税の見直しをはじめとして、所得税の総合課税制への変更、大企業への地方税優遇の是正などで、社会保障財源として38兆円を確保できると解説した。

共済部だより

「保険医年金」・積立年金「DefL」の加入受付は締め切りました 多数のご加入ありがとうございました

※今回ご加入の取り扱いは以下のとおりです。

▶制度の発足 9月1日

▶「月払」初回保険料の引き去り

SMB Cファイナンスによる自動振替(旧診療報酬引去)の方は8月6日、協会からの銀行口座自動振替ご指定の方は8月27日。

▶「一時払」の掛金払い込み

「振込」の方は、協会指定口座へ8月10日までにお振り込みください(7月初旬にご案内をお送りしています)。

「保険医年金」の「口座振替」をご指定の方は7月25日に指定口座から自動振替します。

「DefL」の「口座振替」をご指定の方は8月27日に指定口座から自動振替します。

▶加入者証(加入通知)の送付

11月末までに協会から直送または生命保険会社の担当社員を通じてお届けします。

融資部より 京都銀行提携融資制度

特別金利キャンペーン実施中!

好評につき 2019年3月末まで 延長されました!

協会と京都銀行の提携融資制度は、期間限定の特別金利キャンペーンを実施しています。2019年3月末までの申込受付分について、通常より年0.4%優遇金利となります。借り換えも可能、手数料も通常より優遇していますので、ぜひご利用ください。

Table with 3 columns: 資金種類, 利率, 限度額. Rows include 運転資金, 設備資金, 新規開業資金, 子弟教育資金.

※1000万円までは原則、担保不要 ※歯科は+0.2%、新長期プライムレート連動 ※診療報酬振込口座の社保・国保いずれか片方指定

まずはお気軽にお問い合わせください。 ☎078-393-1805 融資部・有本まで

薬科部研究会

感想文

発達障害の患者様にも居心地の良い環境めどす

薬科部は6月16日、協会会議室で研究会を開催。「発達障害と薬物療法」をテーマに、名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科准教授の岡田俊先生が講師を務め、74人が参加した。西村ゆかり氏の感想を紹介する。

今回の研究会は発達障害の話でしたが、日本の社会の在り方も考えさせられるものでした。発達障害は発達障害者支援法が施行され、定義づけられたそうです。その中で自閉症スペクトラム症とはさまざまな場面での人



発達障害の患者への薬物療法を74人が学習

とのコミュニケーションや相互交流が難しく、行動、関心、活動の幅が狭いそうです。

具体的にはさまざまな情報がどっと押し寄せてきて、注目すべき情報を抽出できなかったり、選択される情報に違いがあったり、場が読めない、暗黙の前提がなかったり、いつもと違う状況が苦手だったり、くつろぎの違い、周りからその感覚やこだわりが理解されにくいことなどです。

注意欠如・多動症(ADHD)は12歳以前から学校、家庭、職場等複数の場面で発達水準に不相当な不注意、多動性、行動性が見られ、具体的には、熟慮より行動が、行動より感情が先に立ったり、行動のコントロールが難しくなったり、待つべき時に待てなかったり、些細な刺激に気が散ったりするようです。また発達障害の患者様がすべて薬物療法を受けているわけではないし、薬も症状に合わせていろいろ試し、容量もまちまちだと教えていただきました。

【東灘区・薬剤師 西村ゆかり】

保険診療法制研究会

録音や弁護士帯同の利用実態など意見交換

小牧英夫協会顧問弁護士などの弁護士らが、審査・指導問題など、開業保険医を取り巻く諸問題について学んでいる保険診療法制研究会。7月4日、18回目となる研究会が協会会議室で開催され、10人が参加し、協会から、西山裕康理事長、吉岡蔵副理事長が出席した。奥語信也弁護士の報告を紹介する。

当研究会では、指導制度について、運用実態やその法的問題を整理し、行政

に対する指導制度の改善要求および保険医が備えておくべき知識と心構えを提言としてまとめる作業が続けています。本提言の骨子はほぼ出来上がってきており、いよいよ大詰め段階を迎えています。



9月の会議で指導に関する提言完成を目指し、医師・弁護士が議論重ねる

7月4日に行われた研究会では、作成された骨子の内容が、行政に対する提言として適切な表現になっているか、指導を受ける立場にある保険医にとって誤解が生じるような文章になっていないかなど、複数の視点

点に立った詰め議論がなされました。さらに、保険医が指導を受ける際の「録音」や「弁護士帯同」の実際の利用実態、指導と診療報酬の「自主返還」との関係

係などについても意見交換がなされました。また、協会が行った文書開示請求によって近畿厚生局から開示された資料を参考にしながら、提言の内容と実際の指導のデータとの間に齟齬がないかについても、議論されました。

今回の会議で出た指摘・修正点を踏まえ、さらに担当者間で意見交換を行い、次回9月の会議での完成を目指します。

【花くま法律事務所 弁護士 奥語 信也】

歯科保険請求



〈エナメル質初期う蝕 (Ce) の算定〉

Q1 Ceのフッ化物塗布について、算定件数が多かったからか、審査で症状詳細と口腔内写真の提出を求められ、この写真ではCeと認められないと査定された。

A1 エナメル質初期う蝕の病変部位の口腔内写真であれば問題ないですが、とくに高齢者で根面う蝕であるのにCeの点数を算定しているケースがあるようです。ご注意ください。

◆6月21日付で施設基準要件の通知の一部訂正◆

これは、協会・保団連が厚労省に重ねて要請した一定の成果です。医管のモニタリングは、「たとえ歯科衛生士がいなくても医療安全上必要なモニタリングは評価せよ。せめて常勤要件は廃止を」と要求。6月14日にも保団連近畿ブロックで下記の通知文言の修正を約束させました。

①歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料に関する施設基準

(2) 常勤の歯科医師が複数名配置されていること又は常勤の歯科医師及び常勤の歯科衛生士又は看護師がそれぞれ1名以上配置されていること。なお、非常勤の歯科衛生士又は看護師を2名以上組み合わせることにより、当該保険医療機関が規定する常勤歯科衛生士又は常勤看護師の勤務時間帯における常勤歯科医師等と同じ時間帯に歯科衛生士又は看護師が配置されている場合には、当該基準を満たしていることと常勤の歯科衛生士又は看護師が勤務もしていることとみなすことができる。

②歯科疾患在宅療養管理料の注4に規定する在宅総合医療管理加算及び在宅

患者歯科治療時医療管理料に関する施設基準

(2) 常勤の歯科医師が複数名配置されていること又は常勤の歯科医師及び常勤の歯科衛生士又は看護師がそれぞれ1名以上配置されていること。なお、非常勤の歯科衛生士又は看護師を2名以上組み合わせることにより、当該保険医療機関が規定する常勤歯科衛生士又は常勤看護師の勤務時間帯と同じ時間帯に歯科衛生士又は看護師が配置されている場合には、当該基準を満たしていることとみなすことができる。

③有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2に関する施設基準

(1) 常勤の歯科技工士を配置していること。なお、非常勤の歯科技工士を2名以上組み合わせることにより、当該保険医療機関が規定する常勤歯科技工士の勤務時間帯と同じ時間帯にこれらの非常勤歯科技工士が配置されている場合には、当該基準を満たしていることとみなすことができる。

私の映画案内

白岩一心

空飛ぶタイヤ



©2018「空飛ぶタイヤ」製作委員会

「倍返しだ」の決めゼリで、三菱自動車リコール隠し事件をモデルとした作品です。父親の後を継いで運送会社を経営する社長・赤松徳郎(長瀬智也さん)は、ある日、自社トラックがタイヤ脱落事故を

起こし、死傷者を出してしまったことを知り、事故原因を一方的に整備不良とされ、容疑者と決めつけられた赤松は、

で、三菱自動車リコール隠し事件をモデルとした作品でないかと考えます。そして、製造元である大手自動車会社のホープ自動車販売部がスタマー戦略課長の沢田悠太(ディーン・フジオカさん)に再調査を要求します。同じ頃、ホープ銀行本店営業本部の井崎一亮(高橋一生さん)は、グループ会社のホープ自動車の経営計画に疑問を感じて、独自調査を開始します。赤松や沢田、井崎は、大企業の「リコール隠し」という真実を突き止めます。

(全国映画館で上映中) 【赤穂郡・白岩歯科医院】

警察から執拗な追及を受け会社の信用を失い、倒産寸前に追い込まれてしまします。しかし社長・赤松は、事故原因は整備不良ではなく、事故を起こした車両そのものに欠陥があったのではないかと考えます。そう感じる部分もあります。現政権に付随する官僚と大企業の癒着を疑ってしまつてもスリルを感じます。大企業と官僚が深くつながっているのではないかと、官邸が握る人事権の重さがマスコミや司法まで取り込み、三権分立まで破壊して、権力を一手に掌握していきそう現代社会と重なり合います。社会の闇を明白にしていることと必死に立ち向かう赤松社長を見てみると、政治的・社会的に

第50回総会 詳報

6月17日、チサンホテル神戸で行われた協会第50回総会での理事長あいさつ、発言・執行部答弁と国会議員・来賓あいさつの要旨、来賓・メッセージ一覧、決議全文を掲載する。

社会保障拡充する政治の実現を

理事長あいさつ

医師増員を前提とした働き方改革こそ必要

理事長 西山 裕康



今年の診療報酬改定は、全体で1.19%のマイナス改定となり、協会・保団連が強く求めたプラス10%にはほど遠く、低医療費政策により疲弊した医療機関の経営と、そこで働く人々の労働条件の改善は望めない。このような医療費抑制政策の中で、国民に安全・安心、必要・十分な医療を提供できるのだろうか。

政府は、引き続き「経済再生」「財政再建」を口実に社会保障費を抑制しようとしている。公的医療保険制度の質と量は、決して財政状況に左右されてはならない。社会保障費抑制のために、患者窓口負担の増加と、それによる受診抑制も狙っている。「給付率の自動調整」つまり患者窓口負担率の自動引き上げまで検討されている。

発言

貧困解消に向け取り組み強化を



歯科部会 島津 俊二先生

「保険でより良い歯科医療の一の運動は、日本の歯科医療費が、他国に比べ非常に少ないことに端を発し、日本の歯科医療を前進させる運動として展開してきた。

この間、歯科技工士問題をとり上げ、歯科医療への評価が低いことを顕在化させてきたが、そうした運動の中で、

や格差を拡大するため、社会保障の財源としてふさわしくない。所得税、法人税での応能負担を強化し、大企業並びに高所得者層に応分の負担を求めらるべきだ。

もう一点注目すべきは「医師の働き方改革」だ。医師と医療機関がともに健全で、国民に安全・安心の医療を提供するためには、人員の増強とそれを支える診療報酬の引き上げが必要なのは明らかだ。

協会が、新たに勤務医部を立ち上げた。私たちの活動を知らせてもらい、勤務医の現状、問題を理解し、その意見を吸い上げ、共に活動していくため、勤務医部の発展に努力したい。

執行部および事務局は、会員のために、また国民のために、よりよい協会、よりよい医療を目指し、これまで以上に努力したい。

子どもたちの口腔崩壊の実態が明らかになっている。この実態をまとめ、昨年、書籍『口から見える貧困』として発行し、マスコミだけでなく、地方自治体にも警鐘を鳴らすことができた。6月10日には市民公開シンポジウム「口から見える子どもの貧困」を開催し、160人以上の参加を得た。

財政問題

政府に提言してほしい



政策部 幸田 雄策先生

マルクス経済学について紹介したい。残念なことに、現在、マルクス経済学は間違いだとの認識が多数を占めるが、その本質は間違っていない。貧困問題は見えにくいとき

現代は格差社会と呼ばれているが、これは一握りの資本家による労働者の支配という社会構造のせいだ。90年以降、財政危機、財政破綻を避けるためという大義名分のために、あらゆる政策が、この

50周年総会までに7500人めざす



組織部 宮武 博明先生

会員拡大への協力にお礼申し上げる。協会の会員数は過去最高を更新し7443人となり、歯科では総会目標を超過達成し、保団連組織拡大年間表彰で実増数・組織上昇率とも2位入賞を果たした。

歯科は施設基準届出に対応した医療安全管理対策研究会での入会が多かった。また、3大共済制度に加え、今年から「新グループ保険」を発足した。共済普及と組織拡大を一体で進めることが重要だ。

協会は今年、勤務医部会を発足させた。勤務医の労働環境改善の実現へ、勤務医会員の拡大を強化する。

来年の50周年総会までに7500人の目標を設定した。実現に向けてがんばりたい。目標達成のため会員の皆さまの協力を願いたい。

政府のウソとごまかし国民に知らせてほしい



北摂・丹波支部 小寺 修先生

日本では立憲主義、平和主義、三権分立などがないがしるにされ、国政が私物化されている。このことを国民に知らせないといけない。

しかし、政府は事実を隠す。政府は事実を隠す。政府は事実を隠す。

兵庫県保険医協会 第50回総会 決議

安倍自公政権は、成長戦略として規制緩和と財政出動を進める一方、基礎的財政収支の均衡を理由に消費税増税と社会保障費抑制を続けてきた。これにより大企業は過去最高益を更新し続けているが、国民生活は消費税や社会保障にわたる負担の増大により疲弊する一方である。この先、消費税率10%への増税、受診時定額負担制度や参照価格制度、高齢者の医療費窓口負担増などが実施されれば、国民生活は困窮し、必要な医療さえ受けられず、命と健康を危険に晒すことになりかねない。

度重なる法人減税と大企業向けの租税特別措置の拡大は、税収構造をゆがめ、財源確保に困難を来している。政府は大企業の利益拡大が国民生活の向上につながるというが、拡大した利益の多くは社内に留保され国民生活は豊かになっていない。今、必要なことは、大企業に正規雇用の拡大と賃金の引き上げをさせることともに、大企業と富裕層による自分の負担で、社会保障を充実させることである。国民の切なる要望に応えるこれらの施策こそ、国民を豊かにして経済の好循環を生み出し、持続可能な社会を創るものである。

首相は本来憲法を尊重し擁護する義務を負う立場にありながら、自ら改憲に意欲を示している。また、厚生労働省によるデータ捏造、財務省による公文書改ざん、首相周辺人物への国有財産の不透明な払い下げ、自衛隊によるイラク派遣時の日報隠蔽など不祥事が相次いでいる。さらに、これらの不祥事について検察は関係者の捜査を行っていないことと不起訴にしている。これらは、立憲主義、平和主義、議会制民主主義、財政民主主義、文民統制、三権分立など、これまで日本の繁栄を支えてきた価値観や原則を蔑ろにするものである。この流れの行き着く先は、国民の安全と生存、人権が容易に脅かされる戦前のような社会である。

記

- 一 患者・介護利用者負担増計画をやめ、応能負担を強化し、医療・社会保障を拡充すること。
- 一 消費税の10%増税を中止し、医療にはゼロ税率を導入して医療機関の控除対象外消費税負担を解消すること。
- 一 保険でより良い歯科医療を実現するため、歯科技術料を正當に評価し、保険適用範囲を拡大すること。
- 一 東日本大震災や熊本地震など災害被災者に対し、国の責任で支援を抜本的に強めること。
- 一 再稼働した原発を直ちに停止し、原発ゼロ政策の推進、再生可能エネルギーの拡大を進めること。
- 一 日本国憲法を守り、日本国憲法の理念が行き届く社会を実現すること。

(4面からのつづき)

制に加え、官僚の人事権が内閣に握られているからだ。兵庫協会だけでなく、保団連としても、政府のウソとごまかないのは報道規制や小選挙区

執行部答弁

社会保障の拡充で 貧困・格差の是正を

加藤 擁一 副理事長

島津先生の発言について、私たちは「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会を7年前に作り、歯科医療を改善するため活動を続けてきた。今後もさまざまな方と力を合わせて改善を求めていく。歯科では口を見れば、家庭の状況が大体分かる。このことを意識し活動したい。

地で行った新点数研究会の目的は、情報を会員に正しく伝えること、改定の不合理を正し診療報酬を引き上げるため、会員・患者の声を集め運動していくことだ。その中で会員拡大も進んできた。

西山 裕康 理事長

宮武先生の発言について、兵庫協会は創設以来年度末の会員数は一度も減らしたことがない。先生方の紹介あってこそだ。他協会と比べ訪問数

が群を抜いて多く、大病院や兵庫医大病院など、大病院にも入会いただき、病院組織率は3分の2に達している。

小寺先生の発言には全面的に同意する。医療だけでなく日本の社会保障や国の形にも物申していく。ただ一部には政治的活動を控えるべきなど

のいろいろな意見があることもしっかり認識し、協会の二つの目的に則した活動を会員の総意で進めていきたい。

改定内容は厚労省が 分かりやすく説明すべき

武村 義人 副理事長

診療報酬改定について、『診療報酬改定のポイント』を保団連が編集して上梓しているが、本来なら厚労省が編集し各医療機関に責任を持って、分かりやすく改定内容を説明すべきだ。

国会議員あいさつ

国民の健康のため 汗流したい

盛山 正仁 衆議院議員(自民)



私は国土交通省、環境省の出身で、昨年夏まで法務副大臣を務め、以降は自民党政務調査会国土交通部会長を拝命している。

また、家族にも医療関係者が多く、医療の世界は他人事ではない。兵庫だけでなく、日本全体の国民の皆さまの健康、社会保障のありかたについて、皆さま方のご指導を得ながら、汗を流していきたい。

来賓あいさつ

大企業・富裕層の負担で 社会保障拡充を

住江 憲勇 全国保険医団体連合会会長



「骨太の方針2018」に向けた経済財政諮問会議の建議などを見ると、さらなる国民負担増、社会保障費削減・改悪メニューが並んでいる。現状の社会保障で貧困・格差拡大を克服できないことは明らかだ。大企業と富裕層の応分の負担で、社会保障費を増やすという観点が必要だ。国民生活打開へ、所得再配分と

国・地方あわせて1000兆円を超える借金があり、プライマリーバランス黒字化のためには消費税増税・社会保障費の抑制が必要という意見もあるが、法人税率は消費税導入前の42%から現在では23.4%まで引き下げられた。所得税も最高税率が60%から45%に引き下げられた。これによる税収不足が財政悪化の原因だ。

市民と野党の共闘が 政権を追い詰める

藤末 衛 全日本民主医療機関連合会会長



今国会では改憲発議が見送られた。その背景には、1350万筆を超える改憲反対署名と市民の運動がある。6月2日、歴史的な米朝首脳会談が開催された。朝鮮半島非核化への第一歩として歓迎する。市民の運動こそが、非核化を実現するために必要だ。

また、5月には生活保護の制度改悪について国連人権理事会の専門家委員会が見直しを要請した。社会保障制度の改悪に対し当事者が立ち上が

れる運動を進めたい。韓国でも社会保障制度の改善と非核平和を求める医療機関の団体が立ち上げられ、さっそく韓国政府は現在5割負担の医療保険制度を3割負担にするという政策を掲げた。海外の団体とも協力して運動をしていきたい。

新潟県知事選挙では市民と5野党の推薦を受けた池田千賀子氏が、敗れたものの大健闘した。原発再稼働反対が70%を超える新潟県では、与党候補ですら「原発再稼働は国民の信を問う」としている。私たちと市民の運動が、政権を追い詰めている。今後も協会とともにがんばりたい。

『口から見える貧困』 書籍化に感謝

小島 三和子 兵庫教職員組合教諭



兵庫協会が『口から見える貧困』を発刊するにあたって、現場の声を伝えるため、座談会に参加させていただいた。協会は「口の中は子ども

の貧困状態がそのまま見えるのではない」と提起されていたが、養護教諭にも以前から「口の中を見ると、子ども

の生活、経済背景が分かる」という認識があり、意見が一致したことをうれしく思う。書籍の出版に深く感謝する。

出版後「口」の権利条

約」の四つの権利、「生きる」「育つ」「守られる」「参加する」権利のすべてが子どもの保障されれば、子どもたちが未来に向かって力を伸ばしていけるという講演をした。多くの保護者も四つの権利を保障されない環境で育ち、子育ての中で戸惑いや困難を抱えているという状況が学校現場で広がっている。

「育つ権利」の中には「医療を受ける権利」があり、養護教諭として医師・歯科医師の方々とつながりを持つことができたことに感謝する。子どもたちの権利、特に健康に関する権利を守るため、今後ともともにがんばりたい。

懇親会ご来賓(順不同・敬称略)

住江憲勇全国保険医団体連合会会長、藤末衛全日本民主医療機関連合会会長、高本英司大阪府保険協会理事長、全国保険医団体連合会副会長、茨木和博京都府保険協会副理事長、合田泰幸兵庫県民主医療機関連合会会長、青井貴之神戸大学大学院医学研究科教授、志岐敬大府歯科保険協会事務局長、田川研大阪府保険協会事務局長、盛山正仁衆議院議員、辻泰弘元参議院議員、元厚生労働副大臣、金田峰生日本共産党国会議員団兵庫事務所長、中野宏亮三井生命保険株式会社神戸支社長、中村正浩三井生命保険株式会社神戸支社推進部長、濱岸均富国生命保険相互会社神戸支社長、服部直樹富国生命保険相互会社神戸支社市場開発推進部長、村谷俊治富国生命保険相互会社業務部法人市場グループ上席調査役、脇野修一明治安田生命保険相互会社関西公法人部法人営業第一部長、内田聡三井住友海上火災保険株式会社神戸支店支店長、西村謙三三井住友海上火災保険株式会社神戸支店支店長、西村謙三三井住友海上火災保険株式会社神戸支店支店長、小牧英夫協会顧問弁護士・花くま法律事務所、浦上立志顧問税理士事務所、野田倫子弁護士・花くま法律事務所、川西讓弁護士・阪神合同法律事務所、川西絵理弁護士・阪神合同法律事務所、柳田洋兵衛神戸市立看護専門学校校長、井上義治兵庫障害者連絡協議会事務局長、北村美幸兵庫県社会福祉推進協議会事務局長、高山忠徳兵庫県社会福祉推進協議会事務局長、藤岡東洋雄協同組合兵庫県保険業協会理事長、津川知久兵庫労働組合総連合顧問、畦布和隆阪神・淡路大震災復興支援委員会委員、岩田伸彦阪神・淡路大震災復興支援委員会委員、復興兵庫県民会議事務局長、出口俊一兵庫復興復興研究センター事務局長、谷守正康NPOまちづくり神戸副理事長、松本竹志関西共同印刷所営業部長、川井祐介関西共同印刷所営業部第一課課長代理、長町那美関西共同印刷所営業部第一課、小林信之新日本プロセス株式会社、佐藤匠新日本プロセス株式会社、野嶋千絵新日本プロセス株式会社、田中義行オオバベンキョウ営業・業務部長、東野健悟ミヤコ在宅医療サービス株式会社医療事業部長、後藤涉ミヤコ在宅医療サービス株式会社主任

祝電メッセージ(順不同・敬称略)

保険医協会・医会、協同組合 全国保険医団体連合会会長 住江憲勇、北海道、岩手、宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木、埼玉、千葉、東京、東京圏、神奈川、山梨、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、京都、京都圏、大阪、大阪圏、奈良、和歌山、鳥取、島根、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知、福岡、福岡圏、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、沖縄、大阪協同組合
医療関係団体 兵庫県歯科医師会会長 澤田隆、神戸市医師会 置塩隆、全日本民主医療機関連合会会長 藤末衛、神戸医療産業都市推進機構医療イノベーション推進センター長 福島雅典、宝塚医療生活協同組合理事長 脇野耕一、兵庫県栄養士会会長 柳由美子
議員 衆議院議員 赤羽一嘉、西村康稔、谷公一、桜井周、中野洋昌、参議院議員 山下芳生、小池晃、末松信介、大門実紀史、室井邦彦、前参議院議員 井坂信彦、元参議院議員 辻泰弘、日本共産党国会議員団兵庫事務所長 金田峰生
生命保険会社 明治安田生命保険相互会社社長 根岸秋男、明治安田生命保険相互会社関西公法人部法人営業第一部長 脇野修一、明治安田生命保険相互会社大阪マーケット開発部市場統括部長 林泰伸、富国生命保険相互会社取締役社長 米山好映、富国生命保険相互会社神戸支社長 濱岸均、富国生命保険相互会社市場開発推進部長 服部直樹
友好団体・業者 兵庫県社会福祉推進協議会会長 吉岡正雄、協同組合兵庫県保険業協会理事長 藤岡東洋雄、兵庫障害者連絡協議会会長 柳田洋、ひょうご聴障ネット代表者 岡野安雅、兵庫県難病団体連絡協議会代表理事 長谷川敏幸、尼崎公害患者家族の会会長 松光子、兵庫県弁護士会会長 藤掛伸之、兵庫県商工団体連合会会長 磯谷吉夫、NPOまちづくり神戸副理事長 谷守正康、阪神・淡路大震災復興支援委員会委員、復興兵庫県民会議事務局長、兵庫県震災復興研究センター代表理事 塩崎賢明、新日本婦人の会兵庫本部会長 岸本友代、兵庫県母親大会連絡会会長 中村治子、兵庫県労働組合総連合顧問 津川知久、全国社会保険診療報酬支払基金労働組合兵庫支部 六戸友美、兵庫教職員組合執行委員長 三上達夫、憲法が輝く兵庫県政をつくる会、兵庫県高等学校教職員組合中央執行委員長 小野泰司、平和・民主・革新の日本をめざす兵庫の会、ミヤコ在宅医療サービス株式会社部長 東野健悟、富士ゼロックス兵庫株式会社代表取締役社長 加藤千晶、株式会社エム・エム・システム代表取締役 中塚幹朗、(株)関西共同印刷所代表取締役社長 竹村知洋、(株)木下印刷所代表取締役 木下益男、兵庫県生活と健康を守る会連合会
顧問・税務講師 花くま法律事務所弁護士 小牧英夫・野田倫子、浦上税理士事務所税理士 浦上立志、神戸共同経理事務所税理士 中村明、橋本税理士事務所税理士 橋本恭典



保険診療 のてびき

-718-

呼吸器疾患の漢方治療

山口県下関市・りゅう呼吸器科内科 院長 劉 震永先生講演

肺の生理機能

(1) 宣発と肅降；呼気・発汗は宣発、吸気・水液下降は肅降、いずれが失調しても、肺気の昇降が妨げられる。「宣降失調」が肺の基本病理である。

(2) 肺の特徴；肺は嬌臓で、湿と燥を嫌い、潤を好む。熱と寒を嫌い、適温を好む。従って、肺の病変の治療原則は、大まかに、燥湿と寒熱の是正にある。

急性気管支炎(咳嗽)の治療方針

麦門冬湯；乾性の咳・燥・滋陰
滋陰降火湯；夜間の乾咳・燥・滋陰
滋陰至宝湯；乾咳神経質・燥・滋潤解鬱
半夏厚朴湯；えへん虫・湿・解鬱除痰
清肺湯；黄色粘痰・熱・滋潤清熱
麻杏甘石湯；喘鳴黄色痰・熱・清熱
五虎湯；胸痛黄色痰・熱・清熱
柴陷湯；胸痛黄色痰食不・熱・清熱和解
竹茹温胆湯；微熱夜間咳嗽・熱・清熱和解
小青竜湯；水様痰・寒湿・温肺除痰
苓甘姜味辛夏仁湯；陽虚水様痰・寒湿・降肺理気除痰

(1) 肺陰虚の咳

燥熱の邪や内熱虚火が肺の陰津を焼灼し肺系統が濡潤されなくなった。

肺胃陰虚；麦門冬湯
肺腎陰虚；滋陰降火湯
肺肝陰虚；滋陰至宝湯

(2) 麦門冬湯で咳が治らなかった場合
炎症所見に乏しい(WBC、CRPが正常)
乾燥が強い→滋陰降火湯
乾燥とストレス→滋陰至宝湯
えへん虫痰が詰まった感じ

→半夏厚朴湯

細菌感染が疑われる(WBC、CRPが上昇)
黄色粘痰→清肺湯
咳嗽時胸痛 胸脇苦満あり→柴陷湯
胸脇苦満なし→五虎湯
夜間の咳嗽・微熱・胸脇苦満
→竹茹温胆湯

気管支喘息の漢方治療

(1) 気管支喘息の発生機序
喘息の発生は、肺あるいは他の臓腑に伏している痰が、
i) 外邪の侵襲(環境の変化や感染症；肺)
ii) 飲食不当(脾)
iii) 情志刺激(ストレス；肝)
iv) 老化(腎)
v) 体虚勞倦(脾・肝・腎)
などの外因・内因で触発引導され、
気道を痰壅し、肺気が宣降失調を起こし、主として肺気が下降しないことによる。

(2) 気管支喘息の発現様式

肺寒喘息(水分内停) 小青竜湯
i) 風寒の邪

ii) 水分過剰体質
iii) 陽気不足(冷え性)；脾虚、腎虚
肺熱喘息(水分熱灼) 麻杏甘石湯
i) 温熱風燥の邪
ii) 寒邪内鬱加熱
iii) 五志鬱結(ストレス)

(3) 標治と本治

標治；急性期・発作期(現症状に対する治療)「急なれば即ち標を治す」e.g.小青竜湯・麻杏甘石湯
本治；慢性期・寛解期(病変の本質に対する治療)

「五臓六腑皆人をして咳せしむ独り肺のみに非ず」

「病を治すには必ず本を求む」

(4) 肺と他臓腑との関係

肺と脾；脾が虚して気虚となれば、肺気も衰える。脾の水湿痰飲は、肺に上行して咳嗽・喀痰・呼吸困難を引き起こす。

肺と肝；肺気は肅降し、肝気は昇発し、平時は均衡している。肝気の昇発が大過すれば、肝火犯肺(木火刑金)により、肺気の肅降が妨げられ、咳嗽・喀痰・呼吸困難・喘鳴などを生じる。

肺と腎；肺は呼吸を主り、腎は納気を主り、吸気は腎気の摂納の助けを必要とする。腎虚になると、吸気性の呼吸困難が現れる。

肺と大腸；肺気の肅降は大腸の伝導を助け、大腸が通暢しておれば肺気はのびやかに肅降する。大便秘結は肺気の肅降を阻害して上逆させるので、咳嗽呼吸困難を引き起こしやすい。

(5) 肺の痰飲の生成

寒痰・湿痰；風寒の侵襲・脾陽虚・腎陽虚などにより、水液が肺に凝滞

する。薄い多量の痰。
小青竜湯・六君子湯・人参湯・真武湯

熱痰；風熱犯肺・肝火犯肺などにより、肺の津液が煎熬され凝集して痰となる。黄色粘稠痰。

麻杏甘石湯・清肺湯・柴胡劑
燥痰；温燥の外邪・肺胃腎肝陰虚などにより肺の津液が乾燥して粘痰を生じる。無痰・あるいは少量粘痰。
麦門冬湯・滋陰降火湯・滋陰至宝湯

(6) ストレス喘息

ストレス→肝気鬱結→疏泄不利

i) 気管支壁が緊張する。
ii) 少陽三焦の気機(気・津液の流れ)が滞り、肺に痰飲が及ぶ。；柴朴湯

ストレス→肝気鬱結→肝鬱化火

iii) 肺気の肅降を抑制する。；四逆散、竜胆瀉肝湯

ストレス→脾虚→痰飲生成

iv) 肺気の肅降を抑制する。；六君子湯

まとめ

(1) 肺は、寒熱燥湿を嫌い、肺の病変の治療は、寒熱燥湿の是正にある。寒熱燥湿は、単独に、あるいは錯雑に病状を複雑にする。

(2) 素問欬論編の「五臓六腑皆人をして咳せしむ独り肺のみにあらざるなり」とあるがごとく、肺病変の治療に当たっては、標治と本治を常に考える必要がある。

(3) そのためには、八綱・気血水・経絡・臓腑・六経・衛気營血などのあらゆる弁証法を駆使して治療しなければならない。

(5月26日、西宮・芦屋支部研究会より)

第27回日常診療経験交流会プレ企画・薬科部共催

放射能を背負って 世界史的災害の現場で考えたこと

日時 8月4日(土) 16時~19時 会場 県農業会館11階大ホール
講師 桜井勝延氏(前福島県南相馬市長)
講師紹介 生田チサト氏(福島県南相馬市・大町病院看護師)
報告 「外国人の見た巨大災害」
ロビン ロイド氏(米国・民族音楽家) / アブドゥルラッハマン ギュルベヤズ氏(ドイツ・サラハディン大学言語学部教授) / ディヌーシャ ランブクピティヤ氏(スリランカ・久留米大学外国語教育研究所講師) / バイマー ヤンジン氏(チベット・声楽家)
司会 広川恵一先生(広川内科クリニック)
滝本桂子先生(薬局リベルファーマシー)
※19時30分より同会場のみなとこうべ海上花火大会観賞会
お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1840まで

第27回日常診療経験交流会

分科会での話題提供のお願い

メインテーマ「あなたのAIのイメージは?~医療でのマルバツと×~」

日時 10月28日(日) 10時~17時(分科会は10時~14時)
会場 神戸市産業振興センター(神戸ハーバーランド内)
テーマ メインテーマ、日常診療、在宅・地域医療、病診・診診連携、医科・歯科・薬科の連携・工夫、震災関連など
発表方法 14分(発表10分、質疑4分) ※スライド10枚程度
応募締切 8月17日(金)

お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1840まで

ドクターを支える! 保険医協会の共済制度

オーストリアのような方々に!

資産運用は
利率と安定性と
使い勝手のよさだ
↓
保険医年金
+
積立年金 DefL
(デフエル)

死亡保障は
安いほどいい
↓
協会グループ保険
+
新グループ保険

病気やケガで
休んだ時の
備えがほしい
↓
休業保障制度
+
所得補償保険

医事紛争の
備えは必須
↓
医師賠償
責任保険

損害保険も
安くしたい
↓
団体割引の
自動車保険、
火災保険

あっちこっちで保険に入ったから
整理がつかない
↓
協会の共済はご加入内容をまとめて管理。
ワンストップサービスを提供します。



協会の共済制度をお勧めします! お問い合わせは共済部まで ☎078-393-1805